

バトルスピリッツ、異  
世界はスマートフォン  
とともに、雷鳴の聖  
也！

アツホマン

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

ひぐらしのなく頃にの世界で沙都子にあの力を託し、梨花と羽入を苦しませたエウア、そのエウアは新たな激突王、丸井和輝の手によって打ち砕き、消滅し、梨花達の住んでる雛見沢村や和輝達がいた現代や並行世界の地球は桜の開花で綺麗に咲き、世界は平和になった、はずだった。エウアが消滅して平和だった並行世界の地球が5年後、突然、異世界と融合し、異世界地球となり、ギルドや討伐にはバトルスピリッツを使つてのルール、カードからスピリット召喚して倒し、マジックやネクサスを使つて回復やら出してやることになり、そしてもう一つ、新種の血液が見つかり、それぞれ黄色、赤、青、白、桃、緑の血が流れ、これを聖遺物血液と名乗り、聖遺物血液は頭脳明晰、知能は良

いが、和平共和国は聖遺物血液を悪魔の血液と呼び、判明した人はコーネリアシティ特別区に管理される、聖遺物血液って何なんだ?!

バトルスピリッツ異世界はスマートとともに、雷鳴の聖也、今、雷鳴を呼ぶ少年が異世界の運命を開く

注意点、このあらすじは作者が作ったオリジナルあらすじです、私はバトルスピリッツが好きなので異世界はスマートフォンとともにのクロスを書いてみました、お時間が空いたら読んでみてください！

# 目次

転醒、新たなコアの光り主	1
決意、そして覚悟！	23
導き、冒険	46

## 転醒、新たなコアの光り主

新たな激突王黙示録歴史、フロンティア事変の戦い、ネフィリムを倒す6人の装者、ドクターウエルを倒した新たな激突王、丸井和輝と新たなコアの光主達、和輝がドクターウエルを葬り、和輝が炎に燃え移り、立花響が和輝の命を救うため、小日向未来の魂と融合し、光になり去る、それから3年後、ライラット系惑星コーネリアとコズミック・イラと融合した平行世界の地球でのシン・アスカとの地球と全世界での命運をかけた戦い、この戦いに勝利した丸井和輝は人類未来の為に光となり、和輝の体の中にいる小日向未来と立花響の魂の欠片とともに光になって去った。

惑星コーネリアとコズミック・イラと融合した平行世界の地球での人類とコーディネーターのコーネリア共和国とアンドルフ帝国との戦いを終止符となり協定し和平共和国として平和になって5年後、復活した新たな激突王丸井和輝がエウアを倒して5年後、世界に異変が起きた、そう、異世界融合、コーネリアと融合した平行世界の地球全体が突然と光だし、異世界と融合、これにより和平共和国の長官、ペッピーヘアとベルファスト王国の王とミスミド王国の王、異国の王が協定に結び、異世界地球として誕生

シミスミド、イーシェン、ベルファスト、レグルスの住民は平行世界の地球人達と豊かに暮らす、そしてもう一つ、異世界の命運を変えるカード、そう、バトルスピリッツである、バトルスピリッツは40枚のカードをデッキに組んでやるカードゲーム、これにはギルド討伐や対戦、スピリットを召喚して戦い、コアを使ってレベルアップにし、マジックやネクサスを使う、最後にもう一つ、黄色、青、赤、白、桃、緑、そう新生児の血液を聖遺物血液と呼ぶ、聖遺物血液を持った異世界の人や地球人や動物の顔をした人物達は天才的な頭脳や知識を持っているが血を見ると皆は恐れ、和人民共和国が聖遺物血液を危険な悪魔の血液とよばれ、聖遺物血液と判明した人物は聖遺物血液特別区に管理される、これは異世界と世界の雷鳴の運命に導く新たな物語である。

リフレットの町のとある大きな屋敷

赤いバイクに乗って屋敷に止める少年、聖也はヘルメットを脱ぎ、歩いて大きな屋敷の扉を開け。

？ 「お帰り聖也、ギルドお疲れ様！」

？ 「聖也さん、このバトルスピリッツというカードゲームを教えてください！」

？ 「拙者もデッキというのを組んでみてやったがルールが大体冬夜殿に教えて貰ったでござるー！」

聖也の名前を言う少女達はエルゼ、シルエスカ、リンゼ、シルエスカの姉妹、サムラ

イの少女、九重八重、エルゼは格闘、リンゼは魔法、八重は刀を使った剣術を使う。

聖也「ああ、後でな、戦利品だ、八重、クレアさんに渡してくれ！」

聖也は八重に向かって荷物が入った布袋を投げ、中身を見る。

八重「おお、大量の食材でござる、さあ今日は美味しいご馳走でござる、クレア殿に渡すでござる！」

? 「聖也！」

? 「聖也さん！」

聖也「冬夜、ユミナ！」

男は聖也と同じ年齢の少年、望月冬夜、実は神様が手違いな事故で異世界に転生し、神様が罪滅ぼしに異世界でもスマートフォンを使えるようにし、七属性の魔法や無属性の魔法を使えるチート能力が使い王位を辞退し、大きな屋敷を貰い、そして訳あってユミナとエルゼ、リンゼ、八重達の婚約者になる、隣にるのが冬夜の婚約者のユミナ、エルネア、ベルファスト、年齢は12歳でベルファスト王国第一王女、彼女は魔眼を持ち、リンゼと同じ魔法やら弓矢が使える。

冬夜「ちよつと、いいかな?!」

聖也「ああ！」

## 冬夜の部屋

冬夜「聖也、次はここに行くんだ？コーネリアシティという街の聖遺物血液の自由と独立をかけた基山コウとレグルス帝国代表のガラム・フィルマのバトルスピリッツ！」

冬夜はスマホを使って聖也にコーネリアシティの写真を見せ。

聖也「ああ、夕飯を食ったらすぐに向かう！」

ユミナ「誰にも言いません！」

聖也「わかってる、記憶喪失の俺をお前の父や冬夜に命を救われた恩があったからな！」

そう、聖也は記憶喪失で聖遺物血液のガングニール血液の人間、異世界地球が誕生して数週間後、ベルファースト王国の町で冬夜とユミナが彼を見つけ冬夜が魔法で治療し、気づくと聖遺物血液と判明し、ベルファースト王国のユミナの父に説得して今は冬夜とエルゼ達が住んでる大きな屋敷に一緒に住んでる。

聖也「これを解析できるか？冬夜！」

聖也は胸のポケットから白いリボンと赤いヘアピンを冬夜に見せ。

冬夜「うん、任せて、僕のスマートフォンで解析できるよ！」

聖也「答えが欲しい……何故俺がここに居るのか？それに聖遺物血液って何なんだ？！」



ユミナ「聖也さん！」

コーネリアシティ聖遺物血液特別区

？「まだお休みにならないのですか？父さん！」

コウ「シユウか！」

青い貴族の服を着た男、基山コウが息子の名前を言う。

コウ「明日、聖遺物血液は歴史を変える時が来たんだ、この谷底からはい上がる時が来たんだよ！」

シユウ「父さん、でも、本当にバトルスピリッツだけで聖遺物血液は勝てるのかな?！」

コウ「…変えられるということはこのデッキが証明出来る、異魔神ブレイブと仮面ライダーカードをメインに組んだんだ！」

シユウ「仮面ライダーカードと異魔神ブレイブ？父さんにしては珍しい選択ですね！」

コウ「ガラムやベルファスト国王やオルトリンデ公爵とは何度もこれで戦ってたからな、相手の知識や戦略について勝ってたからな！」

シユウ「父さん！」

そして夜、聖也はバイクに乗って準備し。

冬夜「待つて聖也、僕のスマートフォンとフランシエシカがコーネリアシティのバトルを調べたけどこのバトルはやっぱりお祭り騒ぎだよ！」

聖也「気をつけるよ、冬夜！」

ユミナ「聖也さん、これはお弁当です、エルゼさんと私と冬夜さんと一緒に作りました！」

聖也「ユミナ、エルゼもありがとう！」

エルゼ「聖也、帰ってくるよね?!」

聖也「ああ、帰ってくるさ、必ず！」

聖也はメットを被ってバイクを起動しコーネリアシティへ向かった。

バトルスピリッツ、異世界はスマートフォンとともに、雷鳴の聖也！

第1、転醒、新たなコアの光り主！

コーネリアシティ

聖也はユミナと冬夜とエルゼが作ったサンドイッチ弁当を外の景色を眺めて食い、休憩。

男A 「へへへ、良いもん持ってんじやねえか！」

男B 「いいなそれ？ちよつと触らせるぜ！」

パチン

聖也は男が触ろうとしたバイクの手を叩き。

男B 「てめえ、何しやがる?!」

男A 「へへへ、やれ！」

男B 「おりゃ！」

男二人は聖也を抑え、顔を殴り。

男A 「へへへ、なつ？こいつ聖遺物血液型のガングニールだ！」

男B 「ここに聖遺物血液型がいるぞ！」

男二人は聖遺物血液型の聖也を全員に叫び。

主婦 「えっ？聖遺物血液?!」

青年 「コーネリアシティに入ってきたぞ！」

男A 「そうか、お前、リフレットの町に住んでたのか?!」

男B 「リフレットにガングニール血液、ヤバイじやねえか！」

主婦A 「やだね、聖遺物血液型は奥さん！」

主婦B 「病原菌が移りそうね！」

男A「へへへ！」

？「やめましょう、こんなことは！」

聖也「……！」

聖也達の前に現れたのは青い貴族の服を着たシユウだった。

男B「誰だテメーは?！」

シユウ「彼を殺しますか?ククク、やってみるといい、他の聖遺物血液型も黙っては  
いられませんよ！」

シユウの他に同じ青い貴族の服を着た聖遺物血液型の人間や動物の顔をした人形姿  
を合わせて30人ほど現れた。

男B「ちっ、行くぞ！」

男A「おい、待てよ！」

男二人はこの場を去る。

シユウ「手当てしましょう！」

聖也「その必要はない、お前は誰だ?！」

シユウ「僕は基山シユウ、君と同じ聖遺物血液で違う色の青のアメノハバキリ血液、君  
が興味を持った基山コウの息子です！」

聖也「俺は聖也だ！」

聖也とシュウは互いに自己紹介し握手した。

夜、コーネリアシテイのバトルスピリッツ場

観客全員『ワアアアア！』

観客全員が大きな声を上げて盛り上がった。

観戦室

シュウ「アルフォンス将軍！」

アルフォンス「おお、シュウ君、彼は?!」

シュウ「彼は聖也、同じ聖遺物血液でガングニール血液です、一緒に観戦します！」

アルフォンス「歓迎しよう聖也君、わしはアルフォンス・フリューゲルだ！」

アルフォンスは聖也と握手。

シュウ「アルフォンス将軍は海軍将軍並びに和平共和国と聖遺物血液の特別議員と将軍も任せております！」

アルフォンス「2人とも、ここは自由に使うといい、歴史が変わる瞬間をこの目で見るといいぞ！」

アルフォンスは観戦室を出た。

シュウ「アルフォンス将軍は僕達の味方です、父とベルファスト王国の国王とオルト

リンデ公爵、ペッピー長官、異国の国王とは僕が小さい頃、洋食屋ねこやという店で誘って平和な事をお互いに話し合ってます、父はこれを変えたくてバトルスピリッツで勝ち上がっています、僕達、聖遺物血液を持った人はどうして悪魔の血液扱いされたのを！」

聖也「いい父親を持つて良かったな、俺は記憶喪失で一人なんだ！」

シユウ「そうなんだ、辛かったね！」

聖也「でも、今は冬夜とその大切な人達がいるから一人じゃない！」

シユウ「…うん！」

MC「異世界地球誕生及び聖遺物血液が誕生して数ヶ月が過ぎ、いよいよ自由と独立を掛けたバトルが始まります、対戦するのはコーネリアシティ代表のカードバトラー、基山コウ、アメノハバキリ血液、対戦相手はレグルス帝国代表の人間と狼のハーフのガラム、フィルマ、彼も聖遺物血液で白の血液、アガートラームです！」

2人はバトルの台に乗り、動かしながらお互いのデッキをカット&シャッフルした。

ガラム「俺は現状に満足してる、不満なのか?!」

コウ「歩み寄れんな、君とは！」

コウ・ガラム「[ゲートオープン開放!]

2人はバトルフィールドに転送。

観客全員『わああああ!』

バトルフィールド

コウ「スタートステップ、ドローステップ!」

リンゼ「冬夜さん、このバトルは皆さんは見てますか?!」

冬夜「うん、聖也や皆も公爵や国王達も見てるよ!」

冬夜とエルゼ達は冬夜のスマートフォンで2人のバトルを見る。

バトルフィールド

第20ターン

コウ

ライフ2、手札2枚、リザーブのコア3

フィールド

仮面ライダー001レベル2（疲労状態）

仮面ライダー鎧武オレンジアームズレベル2（疲労状態）

超炎魔神（ブレイブ状態）

砲竜バルガンナーレベル1（回復状態）

ガラム

ライフ2、手札3枚、リザーブのコア10

フィールド

無し

ガラム「メイんステップ、滅新聖龍、ダークヴルムノヴァ、レベル3で召喚！」

コウ「なっ？ブレイブキラーだど?!」

グオオオオオ

ダークヴルムノヴァの効果でコウの場のブレイブはすべてトラッシュ。

シュウ「何故？何故アイツは知ってる？父のデッキを?!」

グオオオオオ

コウ「見損なつたぞ、ガラムウウウ！」

コウ、ライフ2↓0



コウ「うわああああ！」

遂に決着がついた。

MC「勝者、ガルム。フィルムマ、聖遺物血液は無念の敗退です！」

観客全員『わああああ、良いぞ、ガルム！』

アルフォンス「聖遺物血液の独立は遠くなってしまったか！」

MC「あの、マイクを?!」

コウはMCからマイクをとる。

コウ「皆よ聞け、私は告発する、頭脳明晰と知識才能の聖遺物血液同士の戦いは構築したメタデツキとはあり得ない、和平共和国に連絡して愛護団体を取ることにする、しかるのちこのバトルは無効にし、再戦を要求する！」

観客男「ふざけるな聖遺物血液野郎！」

観客男「負け惜しみかよ、大人しく和平共和国に従えば良いんだ！」

観客達は告発を聞いて苦情やブーイングした。

シュウ「くっ！」

聖遺物血液の人達と観客が乱闘し始めた。

ガルム「コウ、逃げるぞ、告発はマイナスだぞ！」

観客「聖遺物の野郎が、ガルムの勝ちを無かったことに告発しやがって！」

観客「ぶっ飛ばすぞ！」

シユウ「父さん?!」

コウ「シユウ！」

ガルム「コウ！」

観客男「聖遺物血液のガキだ、やつちまえ！」

コウ「やめろ、息子に触るな！」

聖也もすぐ駆けつけ。

シユウ「てい、父さん！」

コウ「シユウ！」

すると

ドス

アメノハバキリ血液の女「きやああああ！」

観客「なんだ?!」

女性の叫び声で乱闘は止め、コウが倒れ、見ると青い血がついたナイフがあった。

シユウ「父さん？父さん？父さん！」

聖也「……うっ?!」

聖也はこの光景を見ると頭痛がし、なにか見えた。

? (あなた、響、産まれたわ、私とあなたの赤ちゃん!)

響 (わーい、これで未来と私の赤ちゃんと合わせて姉弟だねあなた!)

? (ああ、名前は聖也!)

聖也が見えたのは未来と響という女性2人の姿と男の姿、すると。

聖也「はっ?!」

宇宙空間

聖也は気づくと宇宙空間にいた、そこに聖也が見えたのは眠ってたシユウがいたすると、聖也の体から紫のコア、シユウの体から赤のコアが出てきてその二つのコアを1つになるのを見ると光り。

コーネリアシテイ医務室

聖也「ここは?!」

聖也とシユウが目を覚ますと医務室のベッドで寝ていた。

土曜の洋食屋ねこや

アルフォンス「君達二人は一週間、眠っていたぞ、あんな事があったんだ、無理もないぞ！」

アルフォンスはチキンカレーの大盛を食べながら聖也とシュウを心配し。

聖也「アルフォンスさん、人は、どうして俺達を憎んでるのですか？俺達聖遺物血液は何かしましたか?！」

アルフォンス「何も、だから怖いんだ、君達は皆賢い、その頭脳が生み出す可能性はあるんだ、人はわからない事に恐怖を感じている、だがわしは聖遺物血液は素晴らしい新人類だと思う、だがわしは力になりたい、君も聖遺物血液の学園に入ってはどうか？あそこはベルファスト国王とオルトリン公爵、和平共和国が経営してる、手続きはわしがやろう、さあ食べなさい、カレーが冷めるぞ！」

数ヶ月後

コーネリアシティ聖遺物血液の学園

シュウ「どうしても降りるのか?！」

聖也「もう、お前とは歩かない！」

教室

聖也はすぐにデッキを出して構え。

聖也「これで決めよう、勝てば俺はここを去る、負ければお前に従う、武力を認める！」

？「セレナ先生?!」

セレナ「やつぱり、二人とも落ち着いてください、もつと話し合うべきです！」

小太りの少年ポルが教師の名前を言う、彼女の名はセレナ。カデンツァヴナ、イヴ、8年前のフロンティア事変で光りになった響と未来が去る前に奏と共に生き返らせ、この異世界地球のセレナは大人姿をしていた。

シユウ「口を挟まないで下さいセレナ先生、聖遺物血液同士の問題です！」

？「本気、2人とも！」

少女リリが本気と言い、二人はお互いのデツキをカット&シャツフルし。

聖也・シユウ「[ゲートオープン開放!」]

バトルフィールド

バトルフォームを装着した二人。

シユウ「何回目かな？君とここに立つのは！」

聖也「数えて意味があるのか?!」

シユウ「ふう！」

お互いのデッキから4枚引き。

聖也「スタートステップ！」

ターン1

第1ターンは聖也、ナイトブレイドラを召喚し、ネクサス龍の聖剣を配置、バーストをセットしてターンエンド、いつもの流れだ。

ターン2

第2ターン、シユウ、イグナイトドラゴンを召喚してターンエンド、やはりバーストを警戒してる。

ターン3

第3ターン、聖也はキャメロットナイトXを2体召喚し、効果で手札を2枚増やしてターンエンド、まだ動かないな。

ターン4

第4ターン、シユウはファイザードXを召喚し、マジックダブルドロで二枚ドロとしてターンエンド、コアを使いきったか。

ターン5

聖也「メインステップ、龍騎士ソーディアスドラグーンを召喚、不足コストはナイトブレイドラから！」

シユウ「なっ?!」

ポル「初めて見ます!」

ポルはソーディアスドラグーンを見て初めて。

聖也「ソーディアスドラグーンの召喚はお前に伝えたい理由があるときいた!」

シユウ「それがこのバトルだと?!」

聖也「ターンが進めばわかる、アタックスステップ、ソーディアスドラグーンでアタック、ネクサス龍の聖剣の効果でアタックしたときワンドロー!」

シユウ「ライフで受ける!」

シユウ、ライフ5↓4

聖也「ターンエンド!」

ターン6

シユウ「メインステップ、超炎魔神を召喚、効果でバーストを破棄!」

破棄したバーストはソーディアスアースーサーだった。

リリ「動いた!」

ポル「ずっとバーストを警戒してるよ!」

シユウ「イグナイトドラゴンをもう一体召喚、そして超炎魔神にイグナイトドラゴン2体をブレイブ、アタックスステップ、行けブレイブスピリット!」

聖也「キヤメロットナイトでブロック、フラッシュタイミング、イガリマブレイク、バトルしていないブレイブスピリットを破壊、不足コストはキヤメロットナイトから使う！」

シユウ「ターンエンド！」

聖也「以外だったか?!」

シユウ「いや、君ならそうなるかと！」

ターン7

聖也「メインステップ、白騎士アガートナイトを召喚、さらにソーディアスドラグーンをレベル2にアップ、そしてバーストをセットし、アタックステップ、ソーディアスドラグーン、行け、龍の聖剣の効果でワンドロー！」

シユウ「フラッシュタイミング、ガングニールフィンガー、君の疲労していないスピリット2体を破壊、ライフで受ける！」

シユウ、ライフ4↓3

聖也「ターンエンド！」

ターン8

シユウ「メインステップ、僕が君の口から聞きたい事はただ一つ、わかるだろ？超炎魔神を召喚、効果でバーストを破棄！」



セレナ「また超炎魔神ですか?!」

シユウ「続けて、イグナイトドラゴン3体目、そして超炎魔神にもう一度、イグナイトドラゴン2体とブレイブ、もう一体をレベル2にアツプ、ファイザードをレベル2に、アタックステップ、ファイザードでアタック!」

聖也「ライフで受ける、くっ!」

聖也、ライフ5↓4

シユウ「続けてブレイブスピリットでアタック!」

ポル「シユウはこのターンで決めるつもりですよ先生?!」

聖也「フラツシユタイミング、マジック、シユルシャガナブレイク、自分のデツキから3枚破棄してアタックしてないブレイブスピリットを破壊、ライフで受ける!」

シユウ「ダブルシンボルだよ、くらえ!」

聖也、ライフ4↓2

シユウ「ターンエンド!」

セレナ「凌ぎきりましたね、聖也君!」

ターン9

聖也「メインステップ、お前は裏切った、お前の父やベルファスト国王とオルトリン

デ公爵、異国の王やアルフォンスさんの信頼を裏切り銃口を向けたお前は俺は許さない、ソーディアスドラグーンをレベル3にアップ、アタックステップ、ソーディアスドラグーン、ブレイブスピリットに指定アタック、龍の聖剣の効果でワンドロー！」

ソーディアスドラグーンがイグナイトドラゴンと対決。

聖也「コア2個以上のスピリットとバトルしたことにより、ソーディアスドラグーンは転醒する！」

ソーディアスドラグーンのカードが裏返した同時に聖也のバトルフォームが紫から赤に変わり、赤のコアがソーディアスドラグーンに捧げ変わった、その姿は両腕はガングニールの拳をモチーフにした龍の赤いスピリット。

聖也「来たれ絶唱を叫ぶ龍、龍鉄拳、ドラゴニックガングニール！」

シユウ「なっ？姿が変わった?!」

聖也「俺はこのカードで異世界と王国達の未来と幸せの為、雷鳴になる！」

グオオオオ

? 「動き出したようだね、新たなコアの光り主、そして変わったお日さまと陽だまりと新たな激突王の息子、聖也！」

バトルフィールドに宙に浮かんで見てる白いマフラーをした白い髪の毛で紫の瞳の少年、彼は何者なのか？。

## 決意、そして覚悟!

新たな激突王の黙示録歴史、小日向未来、陽だまりの光、14年前のフロンティア事変の頃、小日向未来はドクターウエルに操られ、シエンシヨウシンを纏い、立花響達を苦しませ、激突王丸井和輝がジークヴルムノヴァ GANG ニールを自らの体に纏い、小日向未来のギアのコアを粉々に破壊したが小日向未来は亡くなり、彼女の体が光に包み、和輝の体の中に入り、ドクターウエルを葬った後は光りになった立花響の所に向かい、共に前原圭一達、雛見沢部活メンバーを元の世界に戻し、去り、その小日向未来の魂の欠片は立花響の魂の欠片と共に丸井和輝の体の中に残った。

第2、決意、そして覚悟!

ターン9

バトルフィールド

聖也

手札4、ライフ2

龍鉄拳ドラゴニックガングニールレベル3 (疲労状態)

龍の聖剣レベル1

シユウ

手札3、ライフ3

ファイザードXレベル2（疲労状態）

超炎魔神（ブレイブ状態）

イグナイトドラゴンレベル2（疲労状態）

セレナ「なんなのですか？聖也君のキースピリットは?!」

ポル「ええ、赤の継承者はシユウ君のはずですが？突然と姿が変わりましたよ！」

リリ「転醒のカードは初めて見るよ！」

聖也「転醒時効果発揮、お前のBP20000のスピリットを全て破壊する！」

グオオオオ

ドラゴニックガングニールが吠えて両腕の拳を構え、シユウのファイザードXとイグナイトドラゴンを殴って粉碎した。

聖也「ターンエンド！」

シユウ「聖也、カードで王国や世界の未来を変えられるのか?!」

聖也「ああ!」

シユウ「興味深いな、でも何故? コーネリアシティ特別区に入ったのか?、何故父が死んだのか?!」

聖也「シユウ、お前がやろうとしたことは間違ってる、それでは人々が争いに巻き込まれるぞ!」

シユウ「僕は父のようににはならない、忘れたのかい? 数ヶ月前、父の墓の前で誓ったのを!」

聖也「ああ、忘れた訳じゃない!」

数ヶ月前の基山コウの墓

シユウ「父さん、これからは僕と聖也が聖遺物血液を導きます、僕たちは新たなコアの光り主、僕たちは互いに一歩踏み出して進みます、聖遺物血液と共に!」

聖也「聖遺物血液と共に!」

2人は拳を構え、誓いのグーをした。

コーネリアシティ聖遺物血液特別区学園

セレナ「聖也君、学園には慣れましたか?!」

聖也「カデンツァヴナ、イヴ先生、はい、お陰様で何よりです!」

セレナ「そんな礼儀正しい名前はよして下さい、セレナでいいですよ!」

リリ「聖也、放課後、部室に来て、シユウが見せたいものがあるの！」  
リリが聖也に部室に来るように声をかけ、教室に行き。

セレナ「今のリリさんだけでもしかしてクラブですか?!」

聖也「はい、シユウとポールとリリのクラブデュランダルに参加してます！」

セレナ「それは好都合ですね、私がクラブデュランダルの顧問をやってます！」

聖也「セレナ先生がですか?!」

放課後、クラブデュランダル

ウイーン

ポール「あつ、シユウ君、聖也が来たよ！」

シユウ「やあ、待ってたよ聖也！」

聖也「見せたいものは何だ？シユウ?!」

シユウ「今から見せてあげるよ、リリ！」

リリ「うん！」

カチ

リリがボタンを押すと中から銃が多数出てきた。

ポール「シユウ君？これは何なんだ？すごいよ、どうやってこれを?!」

シユウ「父の遺産をベースに僕の部下達が設備改造したんだ、やはり王国や和平共和

国に対抗するには武器が必要だ!」

シユウとポル、リリが銃を持つとすると。

聖也「うっ、また頭痛がする!」

聖也はまた頭痛がして何か記憶が見えかけた。

? (オギヤア、オギヤア、オギヤア!)

? (よーしよし、どうしたんだ聖也?、お父さんだよ!)

響 (響お母さんと未来お母さんもいるよ!)

未来 (大丈夫だよ!)

セレナ「聖也君? 聖也君? 大丈夫ですか?!」

聖也「はっ、すまない、また頭痛がしてきたから今日はやめとく!」

聖也はすぐ部室を出る。

ポル「聖也、どうしたんだろ? 急に部室を出て、何か嫌なことがあったのかな?!」

リリ「うん、私も気になる!」

シユウ「: : : !」

次の日の朝

学園宿泊室

ウイーン

シユウが聖也のいる宿泊室に入ってきた。

聖也「シユウか？どうしたんだ?!」

シユウ「聖也？君の事が気になって心配してたんだ、教えていいかな?!」

聖也「そうだな、リフレットの町の屋敷に行こう、あいつなら俺の事を知るかもしれない！」

森

ブルルルル

聖也がバイクに乗って運転し、シユウが後ろに乗って景色を見る。

シユウ「このバイク、エンジンがすごいよ、誰が作ったんだ?!」

聖也「ああ、仲間の望月冬夜が俺のために造ってくれたんだ、あいつは魔法が使える、モデリングでバイクや武器を作るからな！」

すると

うがああ



サルの化け物が聖也達の前に現れ、襲う。

シユウ「聖也? 襲ってきたぞ?!」

聖也「心配するな、フラッシュタイミング、マジックイガリマブレイク!」

ザクツ

聖也はマジックイガリマブレイクでサルの化け物に攻撃。

シユウ「すごいな、もしかして、バトルスピリッツのカード達も出して戦ってるのか?!」

聖也「ああ、ギルドでは稼いでモンスターと戦ってる皆はスピリッツやマジックを出してモンスターを撃退やらしてる!」

シユウ「そうなんだ、バトルスピリッツはそんなことも出来るのか?!」

聖也「ああ、皆、金貨や銀貨、銅貨を稼いでギルドやバトルスピリッツで稼ぎ、欲しいカードとか手に入れるルールなんだ!」

シユウ「それはそうと、聖也、昨日はどうして急に部屋を出たんだ? 何か理由があるのかね?!」

シユウは聖也に昨日の事を伝え。

聖也「ああ、すまない、銃やあんな光景を見たら頭痛ができて記憶が思い出すように痛むんだ、だから俺は自分が誰なのかを真実を探してる!」

シユウ「そうだったんだ、すまない、君の前に銃を見せて、辛いだろ?!」

聖也「いや、いいんだよ、冬夜達がいるから辛くないさ!」

リフレットの町

聖也はバイクを押して歩き。

大きな屋敷

大きな屋敷に着くと。

リンゼ「あつ? 聖也さん? 帰ってきたのですか? お姉ちゃん、冬夜さん、ユミナさん、

八重さん!」

シユウ「ここが、今君が住んでる屋敷なんだね? すごく大きいよ!」

聖也「ああ、冬夜が王位を辞退してもらったんだ、ここの屋敷は俺が記憶喪失になつ

たときは冬夜に命を救われて住ませてる!」

ガチャ

扉を開けると冬夜とユミナ達が出迎えた。

ユミナ「聖也さん、お帰りなさい、あれ? この人は誰ですか?!」

シユウ「あなたがベルファスト王国の姫、ユミナ・エルネア・ベルファストですわね?

僕は基山シユウ、基山コウの息子です!」

シユウはユミナに自己紹介し、ユミナの右手に礼儀正しいキスをちよつとした。

ユミナ「まあ、あなたがお父様のお知り合いの!」

シユウ「はい、ですが父は刺されて亡くなり、その意思是僕が継ぎました!」

リンゼ「そうだったのですか? 大変でしたね!」

エルゼ「ん? あんた達の着てるその服は何?、紋章もついてるけど?!

エルゼは聖也とシユウが着てる学生服に気づき。

シユウ「ああ、これね、この制服はコーネリアシテイ聖遺物血液特別区の学園の学生服だよ、僕たちは特別区の学園で勉学やバトルスピリッツ、あらゆる事が出来る学園なんだよ!」

リンゼ「聖也さん、そこでバトルスピリッツや勉学を習ったのですか?!

聖也「えっ? :. . ああ、アルフォンスさんが手続きをしてくれて入ったんだ!」

エルゼ「学園、あたし達も行きたかった、コーネリアシテイも!」

冬夜「仕方がないよエルゼ、聖也は遊びに来たんじゃないから!」

? 「聖也、妾達もバトルスピリッツやらやりたい、教えてほしいぞ!」

? 「そうね、私もそのシユウとバトルスピリッツをやってみるかな!」

少女のスウシイ、エルネア、オルトリンデとリーンが聖也とシユウにバトルスピリッツを教えるように声をかけ。

聖也「……はあ、しょうがないな、一緒に教えてやるよ！」

スウシイ「やったぞ、妾の相手はユミナお姉ちゃんとやるぞ！」

ユミナ「いいですよ、正し、ルールを覚えてからやりましょう！」

シユウ「リーンだったね、僕とバトルスピリッツをやったら冬夜と君に頼みたいことがあるけどいいかな?！」

リーン「構わないわ！」

数10分後

エルゼ「冬夜、ちよつとは手加減しなさいよ！」

リンゼ「冬夜さんのバトルスピは強すぎます！」

冬夜「はは、ごめんね2人とも、でもちよつとは慣れたかな?！」

八重「ちよつとは慣れてきたでござる！」

エルゼ「冬夜、ちよつとユミナ達のバトルを見よう、ちよつと戦略が気になるの！」

冬夜「そうだね、見てみよう！」

冬夜とエルゼとリンゼと八重は聖也とユミナとスウシイとシユウとリーンがいます。ここにいき、バトルを見ると。

スウシイ「行くぞ、アタックステップ、イグアバギーでアタックである！」

スウシイはイグアバギーをタップして攻撃すると。

ユミナ「フラッシュユタイミング、マジック、ビクトリーファイア、イグアバギーとガウシルヴィアを破壊します!」

ユミナはマジック、ビクトリーファイアを使ってスウシイのイグアバギーとガウシルヴィアを破壊。

リンゼ「ユミナさん、マジックでスウシイさんのスピリットを破壊しました!」

冬夜「ユミナの方はルールはバッチリ覚えてる、あっちの方は!」

シュウ「メインステップ、超炎魔神を召喚、召喚時効果でリーンのバーストを破棄する!」

リーン（超炎魔神? 何で彼がそのカードを持つてるの?!）

リーンはシュウが場に出した超炎魔神を気になり。

シュウ「超炎魔神、2体のイグナイトドラゴンとブレイブ、アタックステップ、ブレイブスピリットでアタック!」

リーン「くっ、ライフで受けるわ!」

数分後

スウシイ「妾の負けだ、ユミナお姉ちゃん凄いな!」

ユミナ「えへへ、何とかギリギリに勝って良かった!」

シュウ「君のデッキもなかなかだね、黄色と紫のベースのデッキとは!」

リーン「それはどーも、もう一つ、頼みたいことはなんなの?!」

シユウ「そうだね、冬夜の部屋で話そう!」

冬夜の部屋

冬夜「それで、僕とリーンに頼みたいことは何?!」

シユウ「そうだね、一昨日のコーネリアシティのバトルスピリッツ場、父を殺した真相を調べて欲しいんだ、いいかな?!」

冬夜「そうだね、もちろん、僕のスマホで調べてみるよ!」

シユウ「それと、リーンに教えて欲しいのは魔法で犯人の真相を頼む!」

リーン「なるほどな、貴方が私に頼みとはこの事か!」

数時間後、聖也はシユウとコーネリアシティに戻って、アルフォンスさんがいるコーネリアシティの公国に行く。

公国の中

アルフォンス「おお、聖也君、シユウ君も来てたのか!」

聖也「あれ?アルフレッドさん?ベルファスト国王も何故ここに?!」

ベルファスト国王「おお、聖也君、冬夜殿とユミナは元気にしてるか?!」

聖也「え…ええ、元気になっています!」

アルフレッド「あれ?シユウ殿?シユウ殿も来てたのか?!」

シユウ「はい、ちよつとアルフォンス將軍達にお話ししたいことがあって来ました!」  
聖也とシユウは椅子に座り、アルフォンス達に向かつて話すように礼儀をし。

アルフォンス「聖也君? 学園生活はどうかね?!

聖也「ええ、勉強やバトスピをやれて良かったです!」

ベルファスト国王「それは良かったよ、それでシユウ君、話しとは何なのかね?!

シユウ「父を殺した犯人について真相を教えてください!」

ジャキ

シユウは銃を出してアルフォンス達に銃口を向け。

アルフレッド「なっ? どういう事だ? 何のつもりだ?!

シユウ「リーンと冬夜から情報を聞きました、父を殺した犯人についての正体はレグルス帝国が手引きした和平共和国の人物、つまりアルフォンスさん、貴方の部下がいないんだ!」

すると

聖也「やめろ、シユウ!」

聖也はすぐにシユウを抑える。

シユウ「何をやる? 聖也? 父の仇が討てるんだぞ!」

聖也「シユウ、武器で何でも解決をするんじゃない、銃で殺せば過ちや罪、争いにな

るぞー!」

すると

セレナ「やめてください、お二人とも、ケンカは良くないですよ!」

セレナが公国に来て止め。

聖也「セレナ先生?!」

シユウ「どうしてここに?!」

セレナ「コーネリアシテイで翼さんに会いに行つたついでに立ち寄つてみてアルフォンスさん達の驚いた声が聞こえましたからそれで!」

セレナは来た理由を話し。

聖也「セレナ先生、そのまま出しましょう!」

セレナ「はい、ちょうどお車もありますので行きましょう、それではアルフォンスさん、国王様、オルトリンデ様、失礼いたしました!」

セレナと聖也はシユウを抑えながら公国の中を出た。

車の中

セレナ「ふう、何かと思いましたがシユウ君、貴方はアルフォンスさん達に向かつてなんて事を考えてるのですか?!」



セレナは車を運転しながらシユウを説教し。

聖也「シユウ、バトルをしよう、俺は覚悟を決めた!」

セレナ「えっ?!」

聖也はシユウとバトスピをしようと言ひ、セレナはちよつと驚く。

そして現在

セレナ「それで聖也君は覚悟を決めてシユウ君との決別をかけたバトルをすることに  
なりました!」

リリ「2人の理由はこの事ね!」

ポル「そうだね、でも僕はシユウ君に勝つて欲しいんだ、シユウ君は僕たち聖遺物血  
液の未来を導いて欲しい!」

ターン10、シユウのターン

シユウ「メイנסテップ、騎龍シャイニングドラゴンXをレベル3で召喚、続けてマ  
ジック、ジュライドロー、ん?!」

シユウはシャイニングドラゴンをレベル3に召喚してマジック、ジュライドローで2  
枚ドローし。

シユウ「超炎魔神の右に騎龍シャイニングドラゴンXをブレイブ、ターンエンド!」

ターン1、聖也のターン

聖也「メインステップ、龍騎士ソーディアスドラグーンをレベル2で召喚、アタックステップ、ソーディアスドラグーン、ブレイブスピリットに指定アタック！」

ソーディアスドラグーンがシャイニングドラゴンXとバトル。

聖也「コア二個以上のスピリットとバトルしたことにより転醒、ドラゴニックガングニール！」

聖也は二体目のソーディアスドラグーンをまたドラゴニックガングニールに転醒した。

セレナ「また二体目も転醒?！」

聖也「転醒時効果発揮、お前のBP20000のスピリットを全て粉碎する！」

聖也のドラゴニックガングニールの転醒時効果でシャイニングドラゴンXに向けて右ストレートして破壊。

聖也「レベル3のドラゴニックガングニールでアタック！」

シュウ「ライフで受ける！」

シュウ、ライフ3↓2

聖也「ターンエンド!」

セレナ「勝負ありですね!」

ポル「まだです、シユウは超炎魔神を2体残ってます!」

ターン12、シユウのターン

シユウ「メインステップ、ファイザードXをレベル1で召喚、続いて、爆破龍エクスプロードドラゴンをレベル3で召喚!」

聖也「なっ?!」

リリ「このスピリット、見たことがない!」

セレナ「ええ、でもシユウ君が持つてるなんて?!」

シユウ「君がソーディアスを持つてると同様、君が僕に跪くために僕は戦う、もう一体呼ぼう、爆破龍エクスプロードドラゴン、レベル2だ!」

シユウはエクスプロードドラゴンを二体目を出し。

シユウ「超炎魔神の左右にエクスプロードドラゴン2体をブレイブ、アタックステッ

プ、レベル3のエクスペロードドラゴンでブレイブアタック、アタック時効果でBP+5000!」

聖也「フラッシュタイミング、マジック、リミテッドバリア、コスト4以上のスピリットのアタックでは俺のライフは減らない!」

聖也はマジック、リミテッドバリアを出す。

シユウ「フラッシュタイミング、マジック、アメノハバキリスラッシュ、相手の場のスピリット2体のコアを一個ずつトラッシュユへ、よってレベル3の方のドラゴニックガングニールがレベル2にダウン、更にエクスペロードドラゴンをレベル3のアタック時効果、このスピリットのBP以下のスピリットを破壊する、よってレベル2にダウンしたドラゴニックガングニールを破壊!」

エクスペロードドラゴンの効果でレベル2にダウンしたドラゴニックガングニールを破壊。

シユウ「そしてエクスペロードドラゴンレベル2でアタック、アタック時効果でドラゴニックガングニールのもう一つを破壊、ライフは減らないが君のキースピリットは破壊してもらおうよ!」

聖也、ライフ3

シユウ「ターンエンド、さあどうする?!」

セレナ「シユウ君の場には2体のエクスポードドラゴン疲労状態とファイザードXのレベル1回復状態、手札は2枚残ってます!」

ポル「しかもシユウ君の手札の中には白晶防壁があります!」  
リリ「まだわからないわ!」

ターン13、聖也のターン

聖也「メインステップ、エリマキリザードXをレベル1で召喚、更にマジック、イチイバルドロー、デツキの上から3枚ドロー!」

セレナ「イチイバルドローでカードを引いた?!」

ポル「聖也君はシユウ君を倒すカードを探してます!」

聖也が引いたカードは鉄壁ウォールとキヤメロットナイトXとリバイブドローだった。

聖也「続けてマジック、リバイブドロー、墓地からソーディアスドラグーンを手札に加え、レベル2で召喚、不足コストはエリマキリザードXから使う!」

聖也はリバイブドローを使って墓地からソーディアスドラグーンを手札に加えてレ

ベル2で召喚。

セレナ「ここでリバイブドロ―?!」

ポル「墓地からソーディアスドラグーンを手札に加えてレベル2で召喚してます?!」

聖也「アタックスステップ、ソーディアスドラグーン、指定せずにアタックだ、龍の聖劍の効果でワンドロー―!」

セレナ「えっ? 指定できずにアタック? どういう事ですか?!」

セレナはソーディアスドラグーンの指定せずにアタックに気付き。

聖也「ソーディアスドラグーンの効果、レベル2の効果、カウントエリアにコアが二個以上ある時、相手の場のスピリットのコアを二個トラッシュへ!」

聖也はコア一個以上のファイザードXとエクスプロードドラゴンのコアを一個トラッシュへ置き、ファイザードXを消滅。

聖也「消滅したスピリット一体につきライフのコアを一個トラッシュへ!」

シユウ「ぐあああ!」

シユウ、ライフ2↓1

セレナ「指定できずにアタックした理由はこの事だったんですね?!」

シユウ「くっ、何故だ? 聖也、何故、僕と一緒に歩めない?!」

聖也「シユウ、お前のやってることはすでに間違った事に過ぎない、でも俺は記憶喪失で冬夜とユミナ達に命を救われてわかったことがある、俺は……記憶が戻るまでは冬夜達を支えると決めた、王国や異世界の皆とコーネリアシティの皆を救うと!」

シユウ「くっ……ライフで受ける!」

ソーディアスドラグーンの剣の一振りですユウのライフを破壊。

シユウ「ぐわあああ!」

シユウ、ライフ1↓0

夕方、コーネリアシティ聖遺物血液特別区学園の正門前

聖也「ポルとリリはこれからどうするんだ?!」

ポル「僕とリリはここに残るよ、僕達はシユウ君を助けると自分達で決めただ!」

リリ「バイバイ、聖也!」

聖也「お世話になりました、セレナ先生!」

セレナ「これからどうするおつもりですか?!」

聖也「冬夜達のいるリフレットの町に戻ります、俺は冬夜達と一緒に俺の記憶を求めた旅に行きます、冬夜達も俺の事を支えてくれます、シユウはどうなったのですか?!」

セレナ「聖也君に負けてから部屋でデッキ構築をしています、今は一人にしておきましよう!」

聖也「それじゃ、セレナ先生、またお会いします!」

ブルルル

聖也はバイクを起動して冬夜達のいるリフレットの町に向かう。

クラブデュランダ

シユウは一人でデッキ構築をし、超炎魔神を見てちよつと落ち込んだ。

シユウ「父さん……僕はどう歩めばいいんだ?!」

荒廃地

聖也「はっ!」

キイツ

聖也はバイクを止めて前を見ると白いマフラーを白髪少年が聖也の前に現れた。

?「やあ、君が聖也? さっきのシユウとのバトスピは凄いよ、ソーディアスドラグー



ンで決めるとは!」

聖也「お前は誰だ? 何故、俺の名前やソーディアスドラグーンを知ってる?!」  
? 「僕はエンデ、君の記憶を導く物さ!」

白髪の少年が聖也に自己紹介した。  
続く。

## 導き、冒険

新たな激突王の黙示録歴史、第3章、お日様と陽だまりの光、フロンティア事変の終幕に立花響は炎に燃え移った丸井和輝の命を救うため、自ら接吻し、光になり、丸井和輝の命を救い、陽だまりの光と共に世界を修復し去った。

聖也「俺の記憶を導く? どういう事だ?!」

エンデ「教えてあげるよ、君の記憶を導く鍵を!」

聖也「導く鍵を?!」

リフレットの町の冬夜達の屋敷

ガチャ

ライム「お帰りなさいませ聖也様、お食事のご用意が出来上がって冬夜様達がお先にお食事中ですがどうおなさいますか?!」

聖也「ああ、今から食べる!」

ガチャ

聖也は冬夜達のいる食事場に入り。

八重「おつ、聖也殿、お帰りでござる！」

冬夜「お帰り、聖也！」

聖也「ただいま、冬夜、エルゼ、皆！」

冬夜の部屋

聖也達は夕飯が終わり、冬夜は白虎の琥珀、聖也を連れて部屋に行く。

冬夜「聖也、君から頼んだ白いリボンと赤いヘアピンの事で調べただけで見せるよ！」

聖也「ああ、頼む！」

冬夜はスマホを出して聖也にモニターな物を見せる。

冬夜「一ヶ所、君の記憶の一部が見つけたよ、これは?!」

冬夜はモニターを見て驚いたのは3つのカードが写り、見えたのはソーディアスドラグーンと裏向きのカードが二枚だった。

聖也「残りの2つを手に入れば俺の記憶が思い出すのか！」

冬夜「と言うことはまさか?!」

聖也「ああ、ソーディアスドラグーンは俺が記憶喪失になったときにデツキと共にあつたからな！」

聖也は冬夜にソーディアスドラグーンを見せ。

冬夜「なるほど、これが君の記憶を導く鍵なんだ！」

聖也「コーネリア特別区で見つかった情報を手に入れた、このデツキケースで解析を頼む！」

冬夜「うん、任せて！」

冬夜は眼鏡をかけてスマホで聖也のデツキケースを解析、聖也は待つてる間、琥珀を抱っこした。

琥珀「聖也殿、我をなついてどうしたのだ?！」

聖也「ああ：何だかんだでお前モフモフするからな！」  
すると。

冬夜「聖也、解析終わったよ、今見せるよ、これは?本?名は、新たな激突王の黙示録歴史?！」

冬夜は新たな激突王の黙示録歴史を見て驚き。

聖也「ああ、シユウの友達のパルが俺に見せてくれたんだ！」

冬夜「ん?残りの2つのカードのありかが見つかったよ、1つ目の場所は、あちやー

英国の城にあったんだ！」

聖也「……！」

聖也は冬夜の部屋を出て行く準備をしようとし。

冬夜「待つて聖也！」

屋敷の庭

冬夜「すごいだろ？、僕とフランチェスカが造った車だよ！」

冬夜は聖也を屋敷の庭に連れてキャンピングカーの車を見せ。

聖也「危険だ、俺一人で行く！」

冬夜「駄目だよ、聖也一人じゃ記憶を探すの心配だから、僕達も行くよ！」

聖也「僕達?!」

? 「聖也！」

エルゼとリンゼ、八重とユミナが聖也を見つけ。

聖也「エルゼ、リンゼ達? どうして?!」

エルゼ「冬夜から聞いたわ、あんた、記憶を探しに行く気でしょ?!」

リンゼ「聖也さん、私達は聖也さんに色々之恩返しがあります！」

八重「拙者達は聖也殿にはバトスピを教え、沢山助けられたことがあったでござる！」

ユミナ「だから、今度は私と冬夜さん達が聖也さんを助ける番です！」  
聖也「ユミナ、皆、ありがとう！」

朝、コーネリアシティ特別区学園

教室

セレナ「このように、10年前にあったライラット系惑星コーネリアとコズミック・イラと融合した平行世界の地球のコーネリア共和国とアンドルフ帝国の戦いが終わり、2組織は和平共和国として編成し、人類側代表のペツピー・ヘア長官と七海和也司令とコズミック・イラ側代表のシン・アスカ司令とイザーク・ジュール長官の共存の握手をし、争いのない平和な世界になりました、シユウ君？よそ見して解りますか?!」

シユウ「心で聞いてます、よかつたら平行世界の地球の歴史やペツピー・ヘア長官が將軍だった頃の歴史も教えましょうか?!」

生徒達「ハハハハハハ、基山はすごいな、さすがはコーネリアシティ生まれだぜ！」  
セレナ「はあ！」

セレナはシユウの話でため息をつき。

一方、聖也達は

冬夜「悪いね聖也、運転させて！」

聖也「気にするな、お前らに任せたら大変な運転するかもしれんからな！」

聖也が運転し、冬夜達はバトスピをしていた。

エルゼ「やったー、あたしの勝ち！」

ユミナ「エルゼさん、強すぎます！」

リンゼ「冬夜さん？何をしてるのですか?！」

冬夜「ん？デツキ構築してるよ、聖也がいない間、僕とエルゼ達はギルドでお金を貯めて良いカードが手に入れたから！」

聖也「何のカードなんだ?！」

冬夜「それは秘密だよ！」

すると。

キイイイ

聖也は車を止め。

エルゼ「どうしたの？急に止めて?！」

冬夜「ん？あれはフレイズ?！」

聖也「知ってるのか?！」

冬夜「うん、水晶結晶体の生物、聖也に出会う前は僕たちは少し苦戦してたからね！」

冬夜は聖也にフレイズについて説明をし。

エルゼ「どうする？冬夜?!」

冬夜「食い止めるしかない！」

聖也「こいつを出す！」

聖也は運転席の窓にソーディアスドラグーンをかざし、すると。

ドシン

ソーディアスドラグーンが現れる。

エルゼ「えっ？聖也？そのスピリットは?!」

聖也「行け、ソーディアスドラグーン、フレイズに指定アタックだ！」

聖也はソーディアスドラグーンに指示してフレイズに対抗。

八重「あのスピリットが聖也殿のスピリット、ソーディアスドラグーンでござる?!」

冬夜「うん、聖也が記憶喪失になったときにデツキに入ってるんだよ！」

ユミナ「でも、なんだかステキです！」

聖也「フレイズとバトルしたことにより、ソーディアスドラグーンは転醒する！」

ソーディアスドラグーンがドラゴニックガングニールに変わり。

聖也「来たれ、龍鉄拳、ドラゴニックガングニール！」

リンゼ「姿が変わりました?!」

冬夜「あれが？転醒?!」



冬夜達はソーディアスドラグーンがドラゴニックガングニールに変わってるのに驚き。

聖也「転醒時効果発揮、フレイズを全て撃退する！」

グオオオオ

ドラゴニックガングニールは叫んでフレイズに向かって拳を振るとフレイズが消滅した。

エルゼ「すごすぎよ！」

冬夜「フレイズを一撃で消滅するとは?!」

フレイズが消滅した後、ドラゴニックガングニールは消える。

聖也「よし、行くぞ、英国に行くのは時間がかかる！」

聖也はエンジンを起動し、英国に向かう。

夕方、学園テラス

ポル「シユウ君、僕、解明できたよ、新たな激突王の黙示録歴史の書の第8章の話を新たな激突王と正義の味方の運命、この解明によるとシユウ君と聖也君が、あれは?!」

ポルは学園校門に止める車に気付き、アルフォンス直属の部下のサルがおりてきた。

英国近くの城門

聖也達はおりて城門に行くに警備兵が2人いた。

エルゼ「ちよつと、英国の城にあたし達を入れてよ！」

兵士「駄目だ、ここには入らせない、ハインリヒ隊長は異国の武士のタツゴロウ様とのお茶でゆつくりしてる！」

ユミナ「私はベルファスト王国の王女のユミナ・エルネア・ベルファストです、私達はハインリヒさんにお話があつて来ました！」

ユミナは警備兵に自分の王国と王女と名乗り。

兵士「ユミナ様？あのベルファスト王国王女の?!」

英国城のハインリヒの部屋

ハインリヒ「タツゴロウ様、豊かな平和ですね！」

タツゴロウ「ウム、お前のところの兵士が作ったお茶は旨いぞゼーレマン卿！」

英国城の部屋で紅茶を飲んでる男2人、1人は英国の騎士ハインリヒ、ゼーレマン、もう一人は異国の武士タツゴロウだった。

ドンドン

ハインリヒ「どうした?!」

ガチャ

兵士「ハインリヒ隊長、隊長にお会いするお客が来ました！」

ハインリヒ「誰だ？その客は?!」

兵士「ベルファスト王国王女のユミナ様と婚約者です！」

タツゴロウ「ベルファスト王国王女?!」

タツゴロウはユミナの名に聞こえ。

リンゼ「お姉ちゃん、英国の城はすごいね！」

エルゼ「へー、なんだかここ正装すぎね！」

?「ハハハ、凄いだろ？我が英国の城は！」

ハインリヒとタツゴロウが来た。

ユミナ「ハインリヒさん、初めまして、私は……！」

ハインリヒ「ユミナ、エルネア、ベルファスト王女だね、初めまして私は英国の騎士隊長のハインリヒ、ゼーレマン！」

タツゴロウ「ワシは異国の武士、タツゴロウだ、今日はゼーレマン卿に会いにお茶を飲んでんだ！」

ハインリヒとタツゴロウは自己紹介し。

冬夜「初めまして、僕は望月冬夜です！」

ハインリヒ「君がベルファスト王女の婚約者という者か?!」

冬夜「あ、はい、他にもエルゼとリンゼ、八重との婚約者です！」

冬夜はハインリヒとタツゴロウに軽く自己紹介し握手し。

タツゴロウ「ん？その白い小さな虎はなんだ?!」

冬夜「この子は琥珀、僕の飼った虎です、そして彼は！」

聖也「俺は聖也だ！」

冬夜「彼の名は聖也、記憶喪失で聖遺物血液のガングニールです！」

ハインリヒ「聖遺物血液?…!」

ハインリヒは聖也が聖遺物血液と聞こえ。

ジャキ

ハインリヒは聖也に剣を向け。

エルゼ「ちよつと?何をするのよあんた?聖也に剣を向けて?!」

ハインリヒ「何故?聖遺物血液の人がいる?何故ここに来た理由はあるのか?!」

冬夜「まあまあハインリヒさん、聖也がここに来た理由は聖也の記憶のカードを貰いに来たんです！」

ハインリヒ「記憶のカードだと?!」

数分後

ハインリヒ「なるほど、話は解るぞ、ユミナ王女達はその聖也の記憶を取り戻すカードを探しにここに来たんだな?！」

ユミナ「はい、私と冬夜さんが数ヶ月前に聖也さんを見つけて記憶喪失でした!」

冬夜「そのために僕たちは聖也の記憶を取り戻すカードを探しに来たのです、どうかお願いします!」

ハインリヒ「もしかして?この3枚か?！」

ハインリヒは冬夜達に三枚のカードを見せ。

ユミナ「そのカードです、その…その三枚を下さい!」

ハインリヒ「うーん、そうだな、ユミナ王女の頼みなら3枚を渡そう!」

エルゼ「やった!」

ハインリヒ「正し、私とバトルして勝ったらやろう、相手は、冬夜殿、私と戦って貰うぞ!」

ハインリヒが冬夜を指名し。

冬夜「解りました、僕が勝ったら、その三枚を貰います!」

ユミナ「冬夜さん!」

聖也「冬夜!」

冬夜「心配しないで、新しいカードを試すときが来たから！」

タツゴロウ「そのバトルやら待った、わしに提案があるぞ、三枚の内、1枚ずつ使おう！」

タツゴロウは良い提案し。

ハインリヒ「タツゴロウ様?… 解りました、タツゴロウ様のご提案ならご受けいたしましょう！」

冬夜「なるほど、いいご提案ですね、ありがとうございます！」

#### 学園校門

サル「数ヶ月前の脅迫の件、アルフォンス閣下が不問にするとおっしゃる！」

シユウ「脅迫とは、物はいいようですね！」

サル「閣下は基山コウ死亡によって今なお不在の専任カードバトラーによって、基山シユウと聖也を指名しておられる！」

ポル「これ絶対に懐柔策だよ！」

リリ「最低！」

サル「では、これで掛けよう、聖遺物血液のアメノハバキリごときが身の程をわきま

えろ！」

サルはすぐにデツキを構え。

シユウ「……?!」

冬夜とハインリヒはお互いのデツキをカット&シャツフルする。

ハインリヒ「確か聖也という君の仲間がコアの光主に見えたが！」

冬夜「はい、僕が魔法で聖也を治療したら紫のコアが現れました！」

シユウ「聖遺物血液にバトルスピリッツに勝てるとても思いますか?!」

サル「ゲヘへ、身の程を思い知らせてやる！」

シユウ「ゲートオープン！」

冬夜「解放！」

冬夜VSハインリヒフィールド

ユミナ「冬夜さん！」

エルゼ「冬夜、絶対に勝って！」

ターン1、ハインリヒ

ハインリヒ「スタートステップ、ドローステップ、メインステップ、ネクサス永遠なる水道橋をレベル1で配置、バーストをセット、ターンエンド！」

リンゼ「ネクサスを配置しました?!」

八重「何か考えてるでござる！」

ターン2、冬夜

冬夜「スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、メインステップ、ライトブレイドをレベル1で召喚、さらにグランウオーカーネクサス、ツルギ、タテワキをレベル1で配置、コアチャージ、デッキの上から三枚破棄し、系統、青龍、界徒、劍使のカードがある時、ボイドからコア1個をこのネクサスに置く、よって破棄したカードから2枚出たから2チャージ、ターンエンド！」

シュウVSサルのバトルフィールド

ターン4、サルのターン

シュウ、ライフ5、手札5枚

イグナイトドラゴン



ファイザードX

サル、ライフ5、手札4枚

セツコーキジ×2

ガブノハシ

ピピ

リリ「何？あれ?!」

ポル「バトルメガネだよ、コーネリアシテイが開発したスキャナー!」

サル「アタックステップ、ガブノハシでアタック!」

シユウ「ファイザードでブロック!」

サル「フラツシユタイミング、マジック、ブリーズライド、ファイザードのBPをプラス3000!」

ファイザードBP5000

ガブノハシBP3000

ファイザードXが勝った。

ポル「上手い!」

サル「ウキキ、それでいい、ガブノハシの破壊時効果、イグナイトドラゴンとファイザードXを重疲労させる、続けてセッコーキジ2体でアタック！」

シユウ「ライフで受ける！」

シユウ、ライフ5↓3

サル「エンドステップ、トラツシユよりブリーズライドを手札に戻る、ターンエンド、アメノハバキリ血液を力を見せて貰おうか?!」

12ターン、冬夜のターン

冬夜、ライフ5、手札3枚

ツルギタテワキレベル2

ライトブレイドラ

ブロンズヴルム×2

ハインリヒ、ライフ5、手札4枚

永遠なる水道橋

光の闘士ランダル×2

蒼海の大剣メイルシユトロム

冬夜「メインステップ、騎龍シャイニングドラゴンX、レベル1で召喚、召喚時効果でコアを1払うことでこいつを召喚する、ソードブレイブ、輝きの聖剣シャイニングソードXを召喚、召喚時効果で相手のBP7000のスピリット2体とネクサスを破壊、よってランダル2体と永遠なる水道橋を破壊！」

聖也「冬夜？いつの間にソードブレイブのカードを手に入れたのか?！」

琥珀「スゴいであろう、聖也殿がいない間は主はギルドや討伐だけじゃなく、カードの腕も上がったであろう！」

ユミナ「あのソードブレイブはお父様から冬夜さんに託されました！」

冬夜「そしてシャイニングソードXをシャイニングドラゴンXにブレイブ、アタックステップ、ブレイブスピリットでアタックします！」

ハイインリヒ「ライフで受ける、ぐは！」

ハイインリヒ、ライフ5↓3

冬夜「続いてブロンズヴルム2体でアタック！」

ハインリヒ「フラッシュタイミング、マジック、ビクトリーファイア、ブロンズヴルム2体を破壊する！」

ビクトリーファイアでブロンズヴルム2体破壊。

冬夜「くっ、ターンエンド！」

八重「冬夜殿、圧倒でござるな！」

タツゴロウ「いや、ハインリヒ殿の戦略は動くぞ」

13ターン、ハインリヒのターン

ハインリヒ「メインステップ：フフ」

ハインリヒはカードを引いた途端、微笑む

リンゼ「あれ？ハインリヒさんが、何か笑いました…」

タツゴロウ「来るぞ、ハインリヒのキースピリットが」

ハインリヒ「そう、その通りだ！轟け、英国を守る闘神よ！その豪腕の力で、敵を砕け散れ、召喚、戦輝神ゼルドナーグをレベル3で召喚！」

ハインリヒはゼルドナーグを召喚した

聖也「なっ？ゼルドナーグ!？」

エルゼ「ここでキースピリット!？」

タツゴロウ「来るぞ、ハインリヒのコンボを……」

ハインリヒ「蒼海の大剣メイシルトロムをゼルドナーグにブレイブ!」

ハインリヒはゼルドナーグにメイシルトロムをブレイブ

ハインリヒ「アタックステップ!ゼルドナーグでアタック、アタック時効果を発揮、相手のデッキの上から5枚を破棄、その中にマジックが破棄した時にこのスピリットは回復する!」

冬夜「くっ……」

冬夜はデッキを5枚破棄、そして破棄したカードはチャージドロローが1枚あり、よつてシンボルを1つ追加

ハインリヒ「フラッシュユタイミング!マジック、ガングニールブレイク、相手のスピリットを1体破壊する!よつてシャイニングドラゴンxを破壊!」

ハインリヒは王国で手に持ったカードを早速使い、冬夜のシャイニングドラゴンxを破壊

ユミナ「あのカードは!？」

八重「さつき手にしたカードでござるな」

冬夜「くっ、相手によるブレイブしたスピリットが破壊された時にシャイニングソードxは転醒！輝きの聖剣よ、今ここに現れ、敵を切り裂け！輝きの聖剣シャイニングソード、転醒化身をレベル3で召喚！」

冬夜のシャイニングソードxのカードが裏返し転醒、赤い化身が現れた

聖也「シャイニングソードが転醒した!?!」

冬夜「そのアタックはライフで受けます！うわっ！」

冬夜、ライフ5↓2

冬夜はゼルドナーグのダブルシンボルとメイルシュトロムのシンボルのトリプルシンボルを受け、ライフが残り2になる

ハインリヒ「ターンエンド！さあ、お前のターンだ！」

ユミナ「冬夜さん……」

聖也「大丈夫だ、冬夜は勝つさ」

14ターン

冬夜のターン

「ドローステップ！メインステップ！マジック、チャージドロウ、デツキの上から2枚ドロウ、そしてフラッシュシューティング！ GANG ニールブレイクを使います！」

エルゼ「冬夜もあのカードを使った!?!」

冬夜「相手のゼルドナーグを破壊します！」

ハインリヒ「なっ？ 私のゼルドナーグが!?!」

冬夜も GANG ニールブレイクを使ってゼルドナーグを破壊

冬夜「そして、相手のスピリットを破壊したことにより… GANG ニールブレイクは転醒！」

冬夜が使った GANG ニールブレイクのカードが裏返した

冬夜「響け、絶唱をお日さま、光の武器となり、敵を打ち砕け、聖遺物ブレイブ、GANG ニールソードをシャイニングソード x 転醒化身にダイレクトブレイブ！」

なんとマジックが転醒し、GANG ニールがモチーフの剣になり、シャイニングソード x 転醒化身にブレイブ

聖也「マジックが転醒!?!」

冬夜「アタックステップ！切り裂け、ブレイブスピリット！」

冬夜はブレイブした転醒化身でアタック

ハインリヒ「甘いぞ！私の残りのライフは3、そのブレイブスピリットのシンボルは合わせて2、そんなもので私には通れんぞ」

冬夜「 GANG ニールソードのブレイク時効果、自分の創界神ネクサスのコアを3個を自分のスピリットに置くことで自分のスピリットにシンボルを追加、よってトリプルシンボル！」

ハインリヒ「なっ？何だと!？」

冬夜「これで終わりだー！」

ハインリヒ「うわあああ！」

ハインリヒ、ライフ3↓0

ハインリヒのライフが0になり、冬夜が勝った……

冬夜「よし」

冬夜は王国の3つのGANG ニールブレイクを手に入れた

ハインリヒ「バカな……私に勝つとは……さすがはユミナ王女の婚約者」

ユミナ「でしょ？冬夜さんは聖也さんと互角にバトスピをやりました」



タツゴロウ「ほほくやるではないか」

? 「やりますね… 流石です」

セレナが王国に来た

ハインリヒ「セ、セレナ様!？」

聖也「セレナ先生…」

ユミナ「セレナ?もしかしてカデンツアヴナ家の!？」

セレナ「カデンツアヴナ家は、ハインリヒさんの方とはお知り合いで、異世界食堂のねこむで一緒にエビフライをお食事したことがあります」

ハインリヒ「セ、セレナ様、この事を言つては…」

聖也「… ハインリヒ、俺と握手してくれ、俺はあんたが俺の記憶のカードを拾った事を感じする」

聖也は冬夜の隣にきて握手をかまし

ハインリヒ「… 全く君はしようがない」

ハインリヒは聖也と握手をし、お互いのコアが輝きだす

一方

8ターン、シユウのターン

シユウ「メインステップ！爆破龍エクスプロードドラゴンをレベル2で召喚！」

シユウはエクスプロードドラゴンを場にだし

サル「ん？」

シユウ「続いて、真炎魔神を召喚！」

続いてシユウは真炎魔神を召喚

シユウ「真炎魔神にエクスプロードドラゴンとイグナイトドラゴンにブレイブ！」

真炎魔神の両側にエクスプロードドラゴンとイグナイトドラゴンをブレイブ

シユウ「ファイザードxをレベル2にアップ、アタックステップ！ファイザードxで

アタック！」

サル「ライフで受ける！うわっ！」

サル、ライフ5↓4

シユウ「続いて、イグナイトドラゴンでアタック！真炎魔神の効果、相手のスピリッ

トを2体破壊、よってセッコーキジを2体破壊！」

サル「くっ、ライフだ！ぎゃっ！」

サル、ライフ4↓2

ポル「よし、ダブルシンボルだ！」

シユウ「エクスプロードドラゴンでアタック！効果でガブノハシを破壊！」

シユウはエクスプロードドラゴンの効果でガブノハシを破壊

サル「ククク：：破壊時効果でエクスプロードは重疲労：：」

シユウ「エクスプロードの効果で破壊したスピリットは効果を受けない！」

サル「くつ：：」

シユウ「あなた方は聖遺物血液の事を：：ただ病原菌だと侮辱した、だが僕は聖遺物血液の革命を己の意志で革命を起こすと決めた！」

サル「くつ、畜生！」

ドーン

サル「ぎゃあああ！」

サル、ライフ2↓0

サルの残りをライフを削り、シユウが勝った

夜、フィールマ豪邸

ガルム「……………」

ガチャ！

ガルムがデッキ調整中にサルが入ってきた

ガルム「アルフォンス閣下は留守だ」

サル「聖遺物血液め、話し掛けるな！」

バリーン！

サルは自分のスキヤニングを投げ捨てて壊した

ガルム「……………」

サル「奴らは革命を起こすつもりだ……これ以上、何をするつもりだ」

シユウの部屋

ウイーン！

シユウ「ん？」

シユウが部屋に入ったとたん、エンデがベッドにいつの間にもいた

エンデ 「聖遺物血液、アメノハバキリを持つ少年、基山シュウだね？」

シュウ 「誰だ!？」

エンデ 「僕は、エンデ、君と… 聖也と冬夜を導くものさ」